

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	臨床研修費	担当部局庁	医政局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和43年度～	担当課室	医事課	課長:田原克志				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-3 医療従事者の質の向上を図る					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	・平成23年3月30日医政発0330第1号「医師臨床研修費補助事業の実施について」 ・平成23年4月26日厚生労働省発医政0426第6号「臨床研修費等補助金交付要綱」等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を修得するための臨床研修を支援すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	改正医師法の施行に伴い平成16年4月より医師臨床研修制度が義務化され、将来専門とする分野にかかわらず、患者と良好な信頼関係の下に患者を全人的に診ることができるよう、①医師としての人格を涵養し、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得するとともに、③臨床研修に専念できる環境を整備すること、を基本的な考え方として臨床研修病院に対して指導要員等、臨床研修の実施に必要な経費に対する補助を行っている。また、臨床研修の研修プログラムの企画・立案を行うプログラム責任者に対する講習会について補助を行っている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	16,097	16,075	16,162	14,214	13,209	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	16,097	16,075	16,162	14,214	13,209	
		執行額	16,127	16,101	15,999			
	執行率(%)	100.2%	100.2%	99.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	医師臨床研修医数	成果実績	人	15,258	15,413	15,382	15,417	
		達成度	%	—	—	99.9		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	医師臨床研修実施病院	活動実績	施設	2,435	2,507	2,532	2,531	
		(当初見込み)				()	()	
単位当たりコスト	1,483,705(円/人)	算出根拠	22年度予算額/補助対象臨床研修医数					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	臨床研修費等補助金	14,203	13,198.5	事業規模の縮小によるもの				
	プログラム責任者養成講習会	11	10.7					
計	14,214	13,209						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	臨床研修費補助金については、平成24年度診療報酬改定において診療報酬で対応すべく調整をするべきとの指摘がある
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・将来専門とする分野にかかわらず、患者と良好な信頼関係の下に患者を全人的に診ることができるよう、①医師としての人格を涵養し、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力を習得するとともに、③臨床研修に専念できる環境を整備することを、基本的な考え方として、今後も当該事業の継続は必要である</p> <p>・平成24年度診療報酬改定において診療報酬で対応すべく調整をするべきとの指摘を踏まえ、関係部局等の協議を行う</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られているところではあるが、事業内容について合理化できるところを精査し、更なる予算の効率的な執行が図られるよう努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>平成24年度概算要求において、研修プログラムの作成経費など診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれる経費について、更なる予算の縮減(23年度予算額から▲1,004百万円)を行っている。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省
15,999百万円

[臨床研修病院に対して指導要員等、臨床研修の実施に必要な経費に対する補助、また、プログラム責任者に対する講習会についての補助]

【補助】

B. 臨床研修協議会
11百万円

[プログラム責任者に対する講習会の実施]

【補助】

A. 公私立大学病院等(946病院)
15,988百万円

[臨床研修の実施]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 久留米大学病院			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	指導医等宿日直経費(研修医宿日直時の指導医等の宿日直手当等)	104			
人件費	臨床研修指導医人件費(代替医師雇上経費)	86			
人件費	臨床研修指導医事務補助者雇上経費	21			
人件費	研修プログラム責任者人件費(事務補助者雇上経費含む)	3			
消耗品費等	剖検経費(消耗品費等)	2			
会議費等	研修管理委員会経費(会議費等)	1			
計		217	計		0
B. 臨床研修協議会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	講習会会場借料	4			
旅費	講師旅費	3			
謝金	講師謝金	2			
役務費	参加募集要領等発送	1			
印刷製本費	講習テキスト、修了証書作成	1			
計		11	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	久留米大学病院	臨床研修の実施	217		
2	東海大学医学部附属病院	臨床研修の実施	161		
3	川崎医科大学附属病院	臨床研修の実施	137		
4	獨協医科大学病院	臨床研修の実施	134		
5	愛知県医科大学病院	臨床研修の実施	130		
6	自治医科大学附属病院	臨床研修の実施	127		
7	北里大学病院	臨床研修の実施	125		
8	京都府立医科大学附属病	臨床研修の実施	122		
9	東京女子医科大学病院	臨床研修の実施	115		
10	近畿大学医学部附属病院	臨床研修の実施	115		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	臨床研修協議会	プログラム責任者に対する講習会の実施	11		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					